

研究会概要
論文募集要項

6/30, 7/1-2
FRI-SUN 2017



人工知能学会

市民共創知研究会(SIG-CCI) 第2回研究会

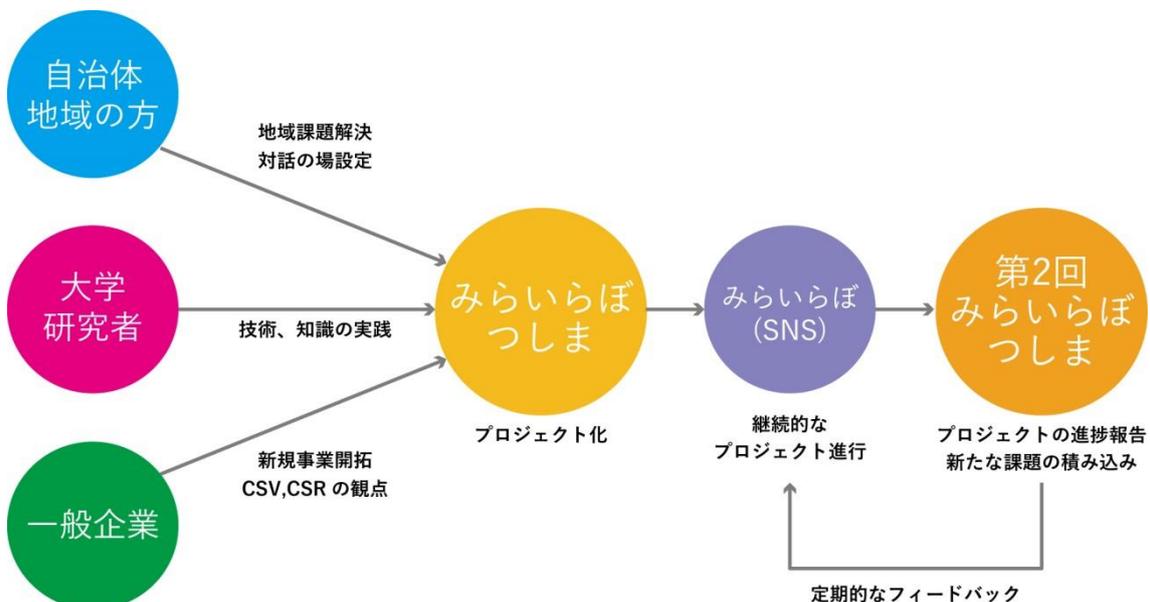
■市民共創知研究会とは

市民共創知研究会は市民の共創や協働により創発される集合知や、研究者と市民の共創を扱うことを目的とした人工知能学会の研究会です。

研究会では、開催地域のコミュニティに積極的に働きかけ、中高生や高齢者を含む市民と研究者との対話や共創を試行する場を提供しています。

第2回研究会は、長崎県対馬市にて開催致します。研究者と対馬市民が同じステージでそれぞれの取り組みを発表し、対話することで新たな共創の可能性を模索する場を目指しています。

研究者や技術者は世界に遍在する課題に対して、先進的な技術や知見をもって解決策を探ろうとしています。しかし、それが市民生活の中でおこる身近な課題を解決するために役立つかどうかはわかりません。一方、一般市民は世の中にどんな技術や知見があって、それが自分が抱えている問題を解決してくれるのかどうか知りません。そこで、双方に一緒の場に集まってもらい、お互いの抱えているものを共有したうえで、実践的に役立つ技術や方法を探りたいと考えています。



第2回研究会の概要

と き：2017年6月30日(金)～7月2日(日)

ところ：7月1日 対話セッション 宝泉寺

〒817-0014 長崎県対馬市厳原町天道茂 467

7月2日 共創セッション 宿坊西山寺

〒817-0022 長崎県対馬市厳原町国分 1543

対馬までの交通アクセス：「研究会のしおり」もしくは以下の URL 参照

<http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/conf2/traffic.html>

会場への交通アクセス：対馬空港からシャトルバスを予定。厳原港からは徒歩。

主 催：人工知能学会市民共創知研究会(SIG-CCI)

後 援：対馬市、一般社団法人対馬観光物産協会

参加申込締切：2017年6月10日(土)

*フィールドワークの調整のため、早期の参加申し込みにご協力ください

参加申込フォーム：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc7btyg7ha_BRy1eBoFpYDR1dGy6k2XMr-9Z8-BUEwWOwkWog/viewform?c=0&w=1

発表原稿投稿締切：2017年6月10日(土)

参加費：

	参加費	発表エントリー
社会人	10,000	5,000
学生	4,000	4,000

単位(円)

*参加に加え、発表を希望される場合には別途発表エントリー費用がかかります。

*対馬市内からの参加者は無料（食事代などの実費は頂きます）

*参加費には、フィールドワーク以外の交通費、食事代は含みません。

*2日目、3日目からの参加につきましても同額いただきます。

*対馬へのアクセス、宿泊、持ち物等につきましては「研究会のしおり」をご参照ください。
*未就学児などご家族の参加につきまして、参加費は発生しませんが、食事代などの実費はご負担いただきます。また、家族滞在用の宿につきましてもご用意がありますので、事務局にお問い合わせください。

研究会のしおり

http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/conf2/Files/About/20170415_SIGCCI02_Guide.pdf

*本研究会の開催中止について

天災その他の不可抗力が原因で本研究会の開催が困難と判断した場合は、開催を中止させていただくことがあります。この場合、中止によって生じたキャンセル料等、損害を補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

みらいらぼつしま 第2回 市民共創知研究会 専用 Web

会の概要やスケジュール、交通案内などを掲載するほか、対馬に関する予習ページも設けています。

<http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/conf2/index.html>

つしまっぷ

フィールドワークで訪れるスポットや郷土料理などについて紹介しています。

<https://tsushimap.herokuapp.com/>

みらいらぼつしま Facebook ページ

直前情報など、回に関する細やかな情報発信の場として設けています。

<https://www.facebook.com/events/323323891417936/>

■タイムテーブル

6/30 Fri.

0400	フィールドワーク1参加者	フィールドワーク2-5参加者	フィールドワークオプション参加者
0500	●フェリー 厳原着		●フェリー 厳原着
0600			
0700	●フェリー 下船時間		●フェリー 下船時間
0800			
0900	●ANA4651 対馬空港着 ●ANA4931 対馬空港着 ●ふれあい地つしま集合		●ANA4651 対馬空港着 ●ANA4931 対馬空港着
1000			
1100	●対馬野生動物保護センター見学		●各フィールドワーク先へ移動
1200	★昼食 あなご亭	●ANA4655 対馬空港着 ●ANA4933 対馬空港着	
1300		●ジェットfoil 厳原港着 ●ふれあい地つしま集合→バス分乗	●ふれあい地つしま集合(午後班と合流)
1400		★昼食 ふれあい地つしま (自然保護、文化財チーム) 肴やえん(観光ガイド、水産業チーム)	
1500	●ヤマネコ野生順化ステーション見学		
1600		●各フィールドワーク先へ移動	
1700			
1800	●ふれあい地つしま着 解散	●ふれあい地つしま着 解散	
1900			
2000			
2100			

7/1 Sat.

0400	●フェリー 厳原着
0500	
0600	
0700	●フェリー 下船時間
0800	
0900	●ANA4651 対馬空港着 ●ANA4931 対馬空港着 ●西山寺集合
1000	オープニングトーク ウェルカムトーク 対話形式、注意事項説明
1100	対話セッション 1 (プログラムは後日発表)
1200	★昼食 お弁当
1300	
1400	対話セッション 2-4 (プログラムは後日発表)
1500	
1600	クロージング
1700	●対話セッション終了 解散
1800	●ディナーセッション開始 ★夕食 海風商事
1900	
2000	●ディナーセッション終了 解散
2100	

7/2 Sun.

0400	
0500	
0600	●座禅教室(西山寺:予定)
0700	
0800	
0900	●西山寺集合
1000	対話形式、注意事項説明 共創セッション
1100	表彰式
1200	★昼食 お弁当
1300	●ジェットfoil 厳原港発
1400	
1500	清水山城見学 ジェットfoil以外の方
1600	
1700	●ANA4938 対馬空港発
1800	
1900	
2000	
2100	

■参加をご検討されている地域の方へ

社会課題には全世界共通のものもありますが、地域性が色濃く表れているものが少なくありません。そこで本研究会は課題を抱える自治体にお邪魔して、その地域の歴史や産業、教育などを学んだうえで、そこに存在する課題と一緒に考えていく姿勢を大切にしています。何も知らない、外部からの人がいきなりやってきて、何か話して帰っていくというのではなく、参加者は事前に地域について学習し、フィールドワークで起きている問題を体験します。その後、地域の方、研究者、企業からの参加者がお互いの取り組みを発表し、対話します。研究者や技術者は、アカデミアに属していない一般の方でも理解可能なように、平素な言葉でわかりやすく内容をかみ砕いて発表に備えますので、どうぞ地域の方々におかれましては、安心して参加していただければ幸いです。

■参加をご検討されている大学・企業の方へ

本研究会は地域に入っていく、そこに暮らす方々の課題を実践的に解いていくことを目的としています。今後の社会においては、世界を変えるようなイノベーションが求められるとともに、個々の地域の問題や、個人の身近な問題を解決していくオーダーメイド型のソリューションが求められます。そこでみなさんがお持ちの研究成果や技術、方法を提示していただき、それらが効果的に作用する課題はないかを探りたいと思っています。

また、個々の技術や研究が課題解決に役立つだけでなく、企業や大学が地域とつながって課題解決をする、産業を強化するための方法を体験するためにも本研究会は有効です。本研究会で得られた社会接点構築のノウハウは、全体で共有いたしますので、ご自分が属する組織にお持ち帰りいただき、さらなる実践に役立てていただければと思います。

■参加をご検討されている自治体関係者の方へ

本研究会は地域にある問題をそこに住む方々と共に考え、解決のために実践的な取り組みを行っていくことを目的としています。研究会の場では地域独特の課題を知るための段階から、地域内外を巻き込んだプロジェクトの立ち上げまでを行います。立ちあがったプロジェクトに関しては、Web上で引き続き交流を行い、解決に向けてそれぞれがアイデアを出し合ったり行動したりします。一過性のイベントにならないように、会期終了後もフォローを行い、数年後に再び成果を共有できるように巡回式の運営を検討しています。

フィールドワーク 1 対馬の自然環境保全 全日コース

島の固有種であり、絶滅危惧種に指定されているツシマヤマネコの保護活動や外来生物ツメアカスズメバチの駆除など、自然豊かな対馬が抱える課題について体験していただくコースで、特に実際にツシマヤマネコをご覧いただくために野生生物保護センターを訪ねる一日がかりの内容になっています。

※参加には福岡からの飛行機 1 便、もしくは深夜フェリーでの到着の時間から移動が前提となります。

フィールドワーク 2 対馬の自然環境保全 半日コース

ツシマヤマネコの保護、ツメアカスズメバチの駆除など島独自の野生生物に対する課題を知るコースになっています。ツシマヤマネコを野生に返すための野生順化ステーションを訪問し、自然保護官の説明を受けるとともに施設見学を行います。

※昼食後に一日コースの参加者と合流を予定します。

フィールドワーク 3 対馬の観光ガイド、史跡コース

対馬には手つかずの自然が残るほか、奈良時代からの遺構も多く残されていて、神話や言伝えもあります。一方で、手つかずが故に、ガイドがないと観光客が気づかず、その価値を共有することができないという問題があります。また、ガイドの高齢化も問題となっています。

奈良時代から昭和にかけての数々の遺構が残る金田城（かなたのき）を訪れ、対馬の観光が抱える課題を共有します。

※雨天の場合は、神社／史跡巡り（西の漕手／住吉神社／和多都美神社等）になります。

※小学生以下不可、ハイキングできるくらいの服装で参加してください。

フィールドワーク 4 対馬の漁業振興、特産品コース

対馬は青潮と呼ばれる「対馬海流」に囲われた国内有数の漁業資源を誇ります。実際にイカやブリといった名産のほか、静かな浅茅湾ではマグロ、カキ、アコヤガイなどの養殖が盛んにおこなわれています。しかし、新鮮な魚介をそのまま島外に販売する一次産業は盛んですが、加工販売する施設や仕組みが確立されていません。このコースでは水産加工業者の方に対馬漁業の特徴やブランド化の取り組みをご紹介いただくとともに、漁協青年部

の方と一緒に、これからの対馬漁業について考える場を体験していただきます。

フィールドワーク 5 対馬の文化財保護、博物館コース

仏像盗難事件で知られるように、対馬には古くからの文化財が多数存在しています。しかし、その保全や管理には多額の費用や人手が必要となり、簡単に進まないのが現状です。また、後継者不足による寺社仏閣の管理者不在も大きな問題となっています。本コースでは、対馬で開館予定の対馬市博物館開館準備室を訪ね、対馬における文化時保全活動について紹介いただくほか、宗家菩提寺の万松院や江戸時代のドック「お船江」を見学いただき、文化財をどう観光資源化していくのかについて考えます。

フィールドワーク 3~5 午前オプション 観光・史跡めぐり

本コースでは午前中に元寇が来襲した小茂田浜神社、矢立山遺跡と対馬独自の高床式倉庫「石屋根」を見学します。午後は、フィールドワーク 3~5 のいずれかにご参加いただけます。オプションに関して追加料金は発生いたしません。

フィールドワークについての情報

<http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/conf2/fieldWork.html>

対馬フィールドワーク個別スポット紹介「つしまっぷ」

<https://tsushimap.herokuapp.com/>

■対話セッション

二日目のメインは対話セッションです。島外から集まった研究者、技術者が自らが持っているアイデア、技術、知見についてプレゼンテーションを行うほか、対馬市在住の方から地域の課題について発表いただきます。その後、じっくり時間をかけて発表者と参加者の対話を行います。発表は「観光」「産業」「文化財」「生態系保全」「まちづくり」といったくくりになっていて、その中から聴きたいセッションを選択することができます。発表の形式も学会のような口頭発表から実演・実食、パネルディスカッション、ハッカソンまでその内容に合わせて設計されています。今までは出会わなかったような人たちとの対話から、抱える課題へのアプローチが見えてくれば成功です。

対話セッションの後、夜からはナイトセッションとして交歓会を兼ねたデモセッションを予定しています。対話セッションで提示されたデモや資料を基に、ざっくばらんに意見交換を行います。別途費用が発生しますが、ぜひご参加いただき、研究会の熱気を感じていただければ幸いです。

■共創セッション

最終日は昨日共有した内容をもとに、今後継続してかかわってほしいプロジェクトを立ち上げます。立ち上がったプロジェクトには参加者と支援者がつき、引き続き Web 上の「みらいらぼ」にてプロジェクトが展開されます。

・みらいらぼ

<https://mirai-making.herokuapp.com/>

参加・発表募集要項

■参加申込(発表されない方の参加も歓迎いたします)

研究会へはどなたでもご参加いただけます。研究会の内容をご確認の上、2017年6月10日(土)までに、下記URLの参加申込フォームから参加申込をして下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc7btyg7ha_BRy1eBoFpYDR1dGy6k2XMr-9Z8-BUEwWOWkwOg/viewform?c=0&w=1

- ・ エントリーフォームの各種項目の選択、記入をお願いします。
- ・ 3日間通しての参加が難しい場合には7/1の対話セッションからの参加も可能です。
- ・ ご家族同伴での参加も可能です。エントリーフォームの同伴者についての必要事項に記入の上、投稿ください。ご家族で参加される場合には、適した宿のご案内などもさせていただきます。
- ・ フィールドワークは人数によってご希望に添えないことがあります。
- ・ 発表を希望される方は、下記の執筆基準、投稿フォームをご覧ください。
- ・ 参加に際しての細かな注意点につきましては、「研究会のしおり」をご覧ください。

参加に関してのお問い合わせは以下のアドレスをお願いいたします。

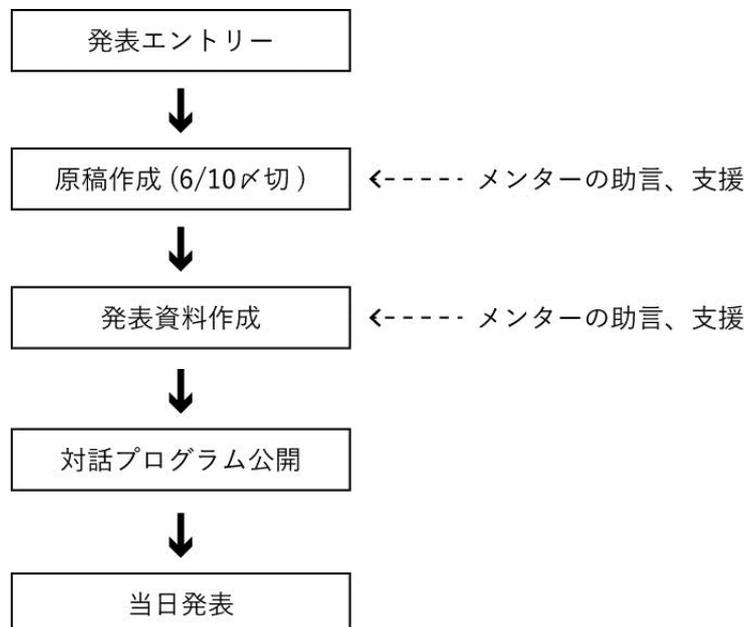
メール：ikeko20471120[at]gmail.com

■発表エントリー

本研究会では、より多くの対話を生み出すための参加者の皆さんの積極的な話題提供をお願いしています。学術的なバックグラウンドをお持ちでない場合でも発表は可能です。

発表までの流れ

参加申し込みの際に、発表の有無を伺いますので、「発表を希望する」を選択してください。発表に際してメンターを助言、支援を必要とされる場合には、「発表の概要」にその旨記載ください



■原稿の投稿

原稿執筆案内: <http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/submission.html>

- A4 1～6 ページ程度（最大 8 ページまで）
- 人工知能学会研究会スタイルファイル／Word テンプレートをご利用ください。

<http://www.ai-gakkai.or.jp/sig/sig-style/>

- 完成原稿は PDF に変換した上で、2017 年 6 月 10 日（土）までに、下記 URL の原稿投稿システムからご投稿下さい。

- ・原稿作成に際し、補助が必要な方はお知らせください。学生、研究者がメンターとして原稿作成、発表スライド作成を支援いたします。

論文投稿システム：

<https://form.jotform.me/70938432366462>

■論文公開形式

発表論文は「人工知能学会 AI 書庫（アイショコ）」(<https://jsai.ixsq.nii.ac.jp/>) に「オープンアクセス」での掲載となります。原稿のウェブ公開にあたり特別な配慮が必要な場合（知的財産権など）は、下記問い合わせ先までその旨ご連絡ください。

お問い合わせ先：

Email: siramatu[at]nitech.ac.jp（名工大白松）

Tel: 052-735-7968（名工大伊藤孝行研究室）

■発表時間

質疑応答を含まず 15 分（ただし、発表件数によって若干の変動があります）
パネルセッションなどの場合には時間がことなることがあります。

■募集テーマ

- ・地域社会やオンラインコミュニティ等で創発される共創知や集合知の事例
- ・市民の共創や協働を支援する技術
- ・市民と研究者・技術者の共創や協働の事例
- ・より大きな集合知に繋がるような地域横断的な取り組み事例やそのための支援技術
- ・また、企業等組織内における組織開発、教育、マーケティング、製品開発等の組織における共創知に関する事例も含む

・関連キーワード

Sharing Economy、合意形成、市民参画、シビックテック、フリーイノベーション、オープンイノベーション、クラウドソーシング、シビックテック、オープンデータ、オープンサイエンス、オープンガバメント、スマートシティ、オンラインコミュニティ、マルチエージェントシステム、社会ネットワーク分析、IoT/M2M、WWW、高齢者介護、

社会選択理論、グループ意思決定、地域学、観光学、社会心理学、社会学、経済学、行動経済学、文化経済学、心理学、倫理・法律、その他の科学・学術等の社会課題応用に関する共創的な事例

※第1回研究会で発表された内容については、下記サイトをご覧ください。

http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/confs/sig-cci1.html#talk_dialogue

運営組織

人工知能学会市民共創知研究会

・幹事会

伊藤 孝行（主査：名古屋工業大学）

白松 俊（名古屋工業大学）

藤田 桂英（東京農工大学）

福田 直樹（静岡大学）

三井 実（富士ゼロックス）

堀田 竜士（富士ゼロックス）

・第2回研究会実行委員

池田 晃一（委員長：株式会社岡村製作所）

仙石 晃久（名古屋工業大学）

遠山 竜也（名古屋工業大学）

芳野 魁（名古屋工業大学）

・コーディネーター

佐藤 雄二（対馬市島おこし協働隊 OB）

人工知能学会 第2回 市民共創知研究会

「研究会概要、論文募集要項」

主査：伊藤 孝行（名古屋工業大学）

実行委員長：池田 晃一（株式会社岡村製作所）

コーディネーター：佐藤 雄二（前対馬市島おこし協働隊）

連絡先

メール：ikeko20471120[at]gmail.com

電話：080-5050-3803（池田）

<http://www.itolab.nitech.ac.jp/SIG-CCI/conf2/index.html>